



発行所 飯田市松尾公民館  
編集人 松尾公民館広報委員会  
印刷：龍共印刷(株)



# みんなで丹精こめて 久井区 自然に親しむ会



「アサギマダラを見る会」のさなか、会員たちの前に飛来

渡りをするのが知られ、注目を集めるようになった大型の蝶アサギマダラ。その飛来を願って、昨春、久井区の自然に親しむ会はアサギマダラの好物フジバカマを移植した。

きつかけは一昨春秋、新聞紙上で千代のよこね田んぼにアサギマダラが沢山来ていたことを知り、観察に出かけたこと。会員らは「松尾でもやらまいか」とやる気になり「旧飯田城の八間門」前の休耕地を移植の候補地に挙げた。地主は「小学生や園児が門の見学に来た時、新たな魅力になる」と快諾。会員らは数人から株分けしてもらったフジバカマを植え、夏場は草取りに精を出した。アメリカシロヒトリが大量発生した際も、薬剤を撒くわけにはいかないので人海戦術で駆除した。

9月、秋の七草でもあるフジバカマが満開に。芳香に誘われ色々な昆虫が集まってくる。会員らは毎日のように様子を見にでかけ、18日に初めてアサギマダラの飛来を確認。約1カ月に渡って数十頭が目撃された。アサギマダラの生態はまだ分からないことが多い。会では活動を継続していきたいとしている。

## 色づいたモミジの下での コンサート

鳩ヶ嶺八幡宮で、紅葉のライトアップが11月3日より17日の期間、照明20基により行われ、最終日の17日には、ライトアップイベントがあった。

農工会議所松尾支部・J Aみなみ信州松尾支所による物販屋台での五平餅販売

今年のは下の池近くの広場に舞台を作り、森田梅泉さんが小学校篠笛クラブと一緒にコンサートを行った。約1時間ではあったが、篠笛やフルートなどの楽器での演奏に観客は聴き入っていた。



舞台上で演奏する森田梅泉さんと篠笛クラブのメンバー

## ようこそ松尾へ

清水区 佐々木直也さん 歩さん

今回は松尾に引越して7年目の清水区佐々木直也さんにインタビュー。佐々木さんは妻と男子3人の元気で明るい5人家族です。

- Q** 言葉が優しく温かな印象 出身地はどこですか？  
**A** 鼎です。妻は松本です。以前はどこにお住まいでしたか？  
**Q** 以前は長野県中西部の東筑摩郡山形村に住んでいました。  
**A** 仕事の関係で駒ヶ根、木曾、長野市とあちこち引っ越していました。  
**Q** なぜ松尾に住むようになったのですか？  
**A** 鼎の実家から近く、暖かくて住みやすいと思ったのでここに家を建てました。  
**Q** 松尾の印象はいかがですか？  
**A** スポーツが盛んで運動会やお祭りなど盛大にやる地区だと思います。また、夜間ソフトのチームにも入っていたり楽しんでいます。  
**Q** 松尾地区に改善してほしいことや、期待する点を教えてください。  
**A** 松本出身の妻の歩さんは「長野県内でも松尾は気候が温暖で、会話が柔らかく優しいので温かな印象」「飯田弁のよいところは語尾に『な』とか『だ』とかつくところ」と話していました。



家族で佐渡へ

## 平成30年 こんな年でした

- 文化祭2日間にわたる芸能発表会(2月)
- 「松尾小6年生モデルロケットを飛ばそう!!」開催(7月)
- 「人形劇フェスタ・世界人形劇フェスティバル松尾地区」各会場で特色ある公演(8月)
- 「松尾地区区落語会」開催(8月)
- 「松尾地区市民運動会」今年も無事開催(10月)
- 「松尾小5年生液体窒素と超電導リニアを体験しよう!!」開催(11月)
- 鳩ヶ嶺八幡宮をライトアップ(11月)



松尾史学会発行の『松生』という冊子に「久井にあった清水」という文章が載っていた。曰く「昭和

松尾の人口
男子 6,223人
女子 6,847人
計 13,070人
世帯数 5,099世帯
11月末現在

30年代までは、市道232号線の崖下に8つの清水が湧き出ていて菜洗いや洗濯のすずぎに利用していたが、上段の宅地化により徐々に水が出なくなると▼学校帰りに、水神様の傍らに置かれた湯呑み茶碗で飲んだ清水の清冽さを感じ出す。上溝、久井、新井、水城、清水、代田、実に松尾の区の半数が水に因んだ名前だ。豊かな水は稲作や養殖業に利用されてきた。裏返せば水害に見舞われやすい土地柄ともいえるのか。自分の住む地の成り立ちを知ることは重要な▼最近「グリーンベルト」問題を耳にしない。松尾から緑がどんどん減っている。常盤台から坂を下れば家並みが露わになる。事は起きてみないと分からない。起こってからでは遅すぎる▼自然は征服すべきものではなく、人間は自然の一部というのが日本人の感性だが、近年の自然は共生の域を超えてしまった感がある。平成は自然災害の多かった時代と記憶されていくのだろうか。

平成30年度

# 松尾地区市民運動会

～仲間とつながる第1歩 仲間を信じて勝利をつかめ!! 深めよう分館の輪～

**総合優勝**  
上溝区

**戸数割優勝**  
上溝区

## 運動会得点結果表

種目別														総合			戸数割		
分館名	さ傘	ツヨット	なわとび	壮年会	競ムカ走	競パン食い	あわてて	ウオーター	ラッキークー	パワー	クイズ	リレー	役員	分館名	合計	順位	分館名	戸数割点	順位
上溝	14	31.5	23	30	49.5	8	30	30	35	15	15	30	30	上溝	311.0	1	上溝	1.44	1
久井	14	10	20	25	25.5	6	10	25	15	0	25	15	15	久井	190.5	9	久井	1.30	2
水城	10	35	7	20	19.5	8.5	25	15	15	10	20	5	5	水城	190.0	10	水城	0.81	5
新井	12	30.5	17	10	22.5	11.5	15	20	5	5	35	10	10	新井	193.5	8	新井	0.71	9
寺所	18	24	30	20	9	10	20	5	15	0	40	30	30	寺所	221.0	5	寺所	1.26	3
明	18	29	40	30	26	19	30	10	40	15	25	20	20	明	302.0	2	明	0.76	6
清水	2	0	8	10	3	5.5	20	30	5	5	15	20	20	清水	123.5	11	清水	0.75	7
城	6	9.5	3	15	22	13.5	15	10	5	60	20	15	15	城	194.0	7	城	0.57	10
八幡町	6	32	37	15	27	13	25	20	5	15	30	5	5	八幡町	230.0	4	八幡町	0.96	4
代田	10	20	32	25	13.5	17	5	25	25	40	40	25	25	代田	277.5	3	代田	0.71	8
毛賀	10	22	40	5	6	14	5	15	25	5	35	25	25	毛賀	207.0	6	毛賀	0.44	12
常盤台	12	6.5	1	5	1.5	3	10	5	15	15	30	10	10	常盤台	114.0	12	常盤台	0.44	11

## 応援コンテスト

- ①元気があがる上溝分館
- ②面白い八幡町分館
- ③そろっている代田分館
- ④一体感寺所分館

10月7日、平成30年度松尾地区市民運動会が松尾小学校グラウンドで約3000人の参加で行われた。今年度も、上位を狙って熱くなる区民の姿や、交流を楽しむ姿が見られた。

皆で楽しんで  
上溝分館長 山田 郁夫



「結果は気にせず、自分の出来る事を楽しんでやろう!」これが私の上溝区民の皆に対する思いでした。  
上溝区民一体となり、楽しんで取り組んだ結果「上溝総合優勝」の栄冠に輝いたのです。本当にありがとうございました。



晴天のもと、運動会が始まる。とびつくだ。可愛い子供たちが走る。牧野市長も走る。最後まで全力。区民の心ひとつに全力、栄光の優勝上溝分館。頑張りました。連覇目指し、祝勝会ビールで乾杯。  
大会役員に感謝いたします。



全力  
大会長  
宮澤 直人



松尾地区のみなさんすばらしい運動会ありがとうございました。心配していた台風も奇跡的に逸れ、無事運動会を行うことが出来ました。これも前日から準備等行っていたいただいた実行委員のみなさんご尽力のおかげだと思っています。笑顔がたえない運動会でスローガンの「深めよう分館の輪」まさに分館の輪が深まったのではないのでしょうか。  
運営に関わっていただいた全ての皆さんに感謝し、来年も晴天になることを祈りつつ、区民の皆さんと共に歴史を刻んでいきたいと思えます。



分館の輪  
スポーツ委員長  
松倉 進一



感謝  
実行委員長  
勝野 薫

今年の運動会は前夜の大雨もびたりと止み、穏やかな晴天の下で熱く盛り上がる事が出来ました。80年以上続く松尾運動会は地域の団結力によって支えられています。役員をはじめ地域の皆様へ厚く感謝いたします。

毛賀区

雨ニモ負ケズ、お祭りワッショイ!!

9月29日、毛賀諏訪神社秋季例大祭が行われた。今年2日前からの雨が29日も続くとの予報だったため中止も検討されたが、事前の準備が早くから進められ区民の期待も高まっていたため、雨天決行となった。そのため、今年は屋内の観覧席の設置をやめ、代わりに区民会館を全面開放し、そこを来場者のための休憩場所とした。また壮年会による飲



仕掛け花火ナイアガラの様子

み物や焼き鳥などの屋台と、区民有志「キッチン・K」によるうどんの屋台を、購入者が雨に濡れないようにと区民会館入口の横に設置した。当日、毛賀区の4つの部では、神輿にビニールの雨除けを被せ、全員が雨具を着用しそれぞれ神輿連を繰り出した。途中からは緑ヶ丘中の文化祭から帰った中学生が参加するなど区民総出で協力し、夕方5時には4部ともに神社に集結。一斉にきおい込みを行った。



雨でも元気にワッショイ

分館事業として秋にベタベタ大会を清水公園で行っていたが、今年は室内で囲碁ボール大会を実施した。10月28日清水コミュニティ消防センターの2階で約100人の区民が参加し、16チームに分かれ、4ブロック3試合を伍組対抗形式で行った。四目を2試合続けて出し、さらに三目を2つ並べたすごいチームもあり、熱戦に「おらたちが優勝

おらたちが優勝だ 清水区囲碁ボール大会

清水区

だ」と盛り上がっていた。初めて囲碁ボールを体験した人からは「コートの周りにから多くの観客の声援もあり緊張した」「思ったようにいかなかったが楽しくできた」などの感想があった。



緊張の一打

集え！老若男女 代田区ペタンク大会

代田区

11月3日飯田女子短期大学グラウンドで代田区ペタンク大会が行われ、56チームの打ち上げ花火やナイアガラ・ぶどう棚などの仕掛け花火を披露した。集まった人々は雨に濡れながらも頭上を見上げ、迫力ある花火の数々を堪能していた。

カントリーから岡晴夫まで 水城ふれあいサロンバンジョー演奏会

水城区



10月15日、水城コミュニティ消防センターで開かれたふれあいサロンは、高齢者を中心に久保田さんは各地で幅広く活動していて、愛用するのは5弦バンジョー。当日は28人が参加して、水城実年会長久保田晃さんのバンジョー演奏を楽しんだ。久保田さんは各地で幅広く活動していて、愛用するのは5弦バンジョー。当日は



手拍子も笑顔もいっぱいの演奏会

水引で正月飾り 「今年はなかなか上手に出来た」 城区文化教養講座



力を入れて「よいしょ」

11月25日城集会所で、文部主催の「水引で正月飾りを作ろう」が行われ、区民23人が参加した。この講座は、昨年に引き続き野々村水引店の野々村京子さんが講師を務め、野々村さんの息子で緑ヶ丘中学校2年生の将星さんも材料運びなどを手伝った。佐々木伸一分館長の挨拶の後、いよいよ正月飾り作りの開始。2人ペアとなり、緑色のわら水引をねじりながら縄のように編んだ後、まるく輪を作り、昨年はなかった梅結びや、すでに準備されていたあわじ結びな

どの飾りをつけ、1時間ほどで正月飾りが完成した。2人の孫と参加した山菅もとゑさんは「ねじるところが少し難しかったが、なかなかいい具合に出来た」孫の松尾小学校1年生の萌未さんは「楽しかった。部屋の壁か玄関に飾りたい」と出来あがった正月飾りを見てうれしそうに話していた。主催した文化部長の木下成弘さんは「昨年に引き続き2回目だったが、地元文化に触れることが出来てよかった」と、笑顔で正月飾りを持ち帰る参加者の姿を見ながら振り返った。



狙いすまして!

高野清嗣区長は「区民の健康と親睦、組合のきずなを深める目的だが、小さいお子さんから杖をついたお年寄りまで、たくさんの方に参加していただきありがたい」と話した。「五十肩だが頑張った」「芝が濡れていたり、地面が凸凹だったり、思わず転がり方を面白かった」「曇りがちだったが、爽やかで気持ちよかった」などの声もあった。



子どもたちも参加

心ひとつで年番を

久井区

久井区は改元され新元号となる初年度に鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭の年番を務める。それに向け、まず昨年5月12日に伊原宮司に清め祓いを受け、御神田の豊作を祈念し、続く19日に、農家の協力の下、田植えをした。台風の影響が心配された



稲刈りを終えて

が、秋には無事稲刈りを終えた。御神田の田植え、稲刈りとも区民50人の参加があった。しめ縄づくりはもちろん、御神田で刈った稲わらを使い、年末にはおやす作りも行われ、世代を超えて区民が交流を深める機会が設けられた。年番長の中山明さんは「松尾で最少の戸数・人数の久井区ではあるが、老若男女問わず熱き心意気は頼もしい」と話している。

# 松尾をスポーツの拠点に!

## スポーツパークIIDA構想提案



松尾地区まちづくり委員会は、9月21日、市役所に牧野光朗市長を訪ね、地区内の飯田総合運動場や飯田勤労者体育センターを中心とするスポーツ関連施設の有効活用を目指す「スポーツパークIIDA」構想を提案し、周辺施設等の整備も含め要望書を提出した。

松尾地区は現在、飯田総合運動場周辺に飯田市勤労青少年

ホームをはじめ、マレットゴルフ場、ほつ湯アップル、今は休止状態の天竜グラウンドなどの施設があるが、これらを総合的に考え、①体育館を改修工事して公式試合ができるようにする、②天竜グラウンドに夜間照明をつけて使用時間を長くし、駐車場スペースとしても利用できるようにする、③合宿所を設置する、④現在は天然芝のため養生時期を設けないといけないのでグラウンドを人工芝化して年中使用できるようにする案を提出した。

また、産業道路と153バイパスの直結などアクセスの改善についても言及した。

同一帯は、南信州広域連合がリニア中央新幹線や三遠南信道の開通時代を見据え整備を検討する屋内体育施設の候補地の一つとなっており、飯田市は広域連合に情報提供している。

### 目指すものはリニアを見据えた松尾の10年後の姿

#### 松尾地区基本構想特別委員会の取り組み

松尾では2002年に松尾地区基本構想「やらまいか松尾」を策定し、20年間にわたる長期計画をたてた。しかし、その構想は社会状況の変化により現状と合致しなくなってきた。

今回、飯田にリニア中央新幹線の駅ができることになり、これからのリニア時代を見据え、また飯田市の「い

いた未来デザイン2028」との整合性を考慮しながら、この基本構想の見直しをすることとなった。

第1段階としてまちづくり委員会役員および有識者と各区推薦の委員14人でスタートし、前回の基本構想を検証しながら今後の委員会組織や進め方を検討した。さらに一般公募と各区から

の選出、および松尾地区在住の市役所職員を各分科会委員(5区分36人)に加え、現在は合計50人態勢で進めている。

まちづくり委員会の宮澤会長は「目指すものは松尾の10年後の姿である。基本構想が文書化された時点が終点ではなく、そこから未来構想事業推進のスタートとなる。そのためには強力な推進体制と定期的なレビューが必要となる」と結んだ。

10月21日、城公園で「健康ウォーキング教室」が開催され、20人が参加した。ストレッチャで体をほぐしたあと、靴の選び方、履き方、歩くときの姿勢や足の運び方などの説明を聞き、まずは公園内を歩いてみた。

その後、松尾小学校のマラソンコース1.5kmをウォーキング。参加者は「普段から歩いているが自己流だったので、勉強になった」「足の着



いつもより大股で

がかららない、一人でもできる、心肺機能が上がる、骨粗鬆症に良いなどたくさんあります。正しく楽しく歩いて、今後の健康につながっていただければ」と話していた。

途中から体が温まり、一枚、また一枚と上着を脱ぐ姿も見られた。

講師のスポーツ推進委員の田中利治さんは「ウォーキングの良いところは、お金がかからない、一人でもできる、心肺機能が上がる、骨粗鬆症に良いなどたくさんあります。正しく楽しく歩いて、今後の健康につながっていただければ」と話していた。

## 被害金額5600万円!?

### 松尾地区地域安全大会

少年非行防止目的に始まった10年の節目を迎えた松尾地区地域安全大会が11月4日開催され、約170人が参加した。

オープニングの緑ヶ丘中学校合唱部による「糸」C.O.S.M.O.S「チエリー」の合唱に続いて、飯田警察署交通課免許規制係長の黒河内淳史さん

の「特殊詐欺の現状と高齢者の交通事故防止」と題した講演が行われた。

黒河内さんは講演で、「特殊詐欺の事件数は7件と少ないものの、被害金額は飯田市内でも5600万円以上と多く、留守番電話の設定にしたり、地域でお互いに声をかけあったりして振り込ま



講演をする黒河内淳史さん



二年坂も散策

### 秋の探勝会

11月2日、公民館主催の探勝会が行われ、大河ドラマ「西郷どん」大西郷展と秋の京都をテーマに26人が

参加した。

霊山歴史館で、特別展の「西郷展」を観覧。幕末の頃を思い馳せた。出発時間までの間、近くの二年坂、三年坂を散策した人も多かった。

午後は、織田信長の菩提寺でもあり、千利休作の直中庭のある「大徳寺」塔頭「黄梅院」の見学をした。また紅葉には早かったが、手入れされた庭の美しい苔と、緑の

もみじが皆の目を楽しませてくれた。

同じ松尾に住んでいても初対面の人も多く、交流と親睦を深める探勝会であった。



ネオジム磁石が浮かんでる

説明を受けた。

子供たちの感想は「科学ってすごい」。テレビや教科書などで与えられる知識より、自分で経験して得た知識は尊いことを実感していた。

が、12月は静電気を使った実験と「爆鳴気体実験」が行われた。

\*出張サイエンススクール 11月17日新井分館主催の出張サイエンススクールが行われ約60人が参加した。「浮くものシリーズ」で

\*松尾サイエンススクール 11月10日、12月8日に松尾公民館ミニ体育館で、11月「わっかとりペン落と



### 松尾図書館

(公民館2階)  
開館日 水曜 午後1~5時  
土曜 午前10~午後5時  
日曜 午後1~5時  
本のクエストも受けつけています。

「浮くものシリーズ」で空気についての学習を体験し、最後に風船口ケット作りを楽しんだ。